

2020年度インターネット基盤整備基金資産運用報告

資産運用規程に基づき、下記の通り、インターネット基盤整備基金資産の2020年度の運用状況報告を行う。

(1) 運用実績 (百万円)

	2019年度実績	2020年度予算	2020年度実績	備考
運用収入(a)	19.9	17.1	17.8	
償還損益(b)	△6.0	0	△3.6	為替要因 +5.6百万円
評価損益(c)	△31.6	0	53.5	価格要因 +44.3百万円
トータル収支(d)	△17.7	17.1	67.5	
期首残高(e)	1,231.5	1,193.9	1,193.9	
期末残高(f)	1,193.9	1,193.9	1,243.8	

$$(d)=(a)+(b)+(c) \quad , \quad (f)=(e)+(b)+(c)$$

(2) 償還損益・評価損益の内容

① 為替要因 +5.6百万円

～¥/US\$レート 2020/3末@108.83→2021/3末@110.71、@1.88円の円安

② 債権価格要因 +44.3百万円

昨年3月末はコロナ禍の中で、信用面の先行きが一番不透明な中で(所謂リスク・オフの状況)であったため、2019年度は△37.6百万円の評価損/償還損を計上(うち△31.1百万円が価格要因)したが、その後の各国中央銀行の潤沢な資金供給により、市場は安定を取り戻しており(寧ろ所謂リスク・オンの状況)、債券価格が大幅に上昇したことが、評価益計上の主因である。

(3) 資産内訳(2021年度決算値、期末評価後)

		2020年3月		2021年3月	
		残高	%	残高	%
債券	外貨建	353.6	29.6%	355.4	28.6
	円建	471.0	39.5%	503.8	40.5
円預金		369.3	30.9%	384.6	30.9
資産計		1,193.9	100.0%	1,243.8	100.0

2021/3末債券残高859百万円については、各銘柄の、リスク・パーティーの格付は全て運用規程の基準を充足しており、保有債券の信用リスクに現時点では著変無し。